

身だしなみの良い和歌山

胡俊華

教育学部 交換留学生 中国

3月下旬のある夕方、私は友達と一緒に和歌山に来た。次第に薄れる夕焼けに身だしなみがよい和歌山を初めて見た。その日からあっという間に二ヶ月経ち、この二ヶ月で、私は和歌山の人々と「身だしなみの良い」という最初の印象をさらに深めることになった。

「身だしなみの良い和歌山」とは、和歌山の風景ばかりか、交流したりいろいろなことを体験したり、の地域で住んでいる身だしなみに注意する人々も含まれている。

最初に、私は和歌山の綺麗さにびっくりした。和歌山に来たばかりの頃、ちょうど桜の満開の季節で、温かい日差しに白っぽい桜や赤っぽい桜が盛んに咲いていて、風に花びらがちらちら舞い、趣きのある風景だった。花びらがちらちら落ちるのであるが、道路は綺麗でごちゃごちゃしていない。また、歴史的雰囲気が濃い和歌山城は有名な観光地として各地の観光客が訪れるが、地面も建物も綺麗だし、全く汚れていない。私は和歌祭りに参加した際、唐人の衣装を着て参加し、東照宮からその辺のあちこちを歩いた。数多くの見物者や参加者がいたが、途中で街にゴミが全く見られず、驚くほど綺麗だった。私の国では、普通の町はともかく、観光地や行事が開催された場所では、ゴミが多く出る。した



がって、和歌山は非常に身だしなみの良いところで、住民の高い環境意識や努力がその重要な原因だと思う。

続いて、和歌山に住んでいる人々の身だしなみに注意すると気がついたことである。和歌山大学で会った大学生たちはみんな身だしなみが良い。女子学生が綺麗に化粧し、男子も自分の髪型や服装を気にする。次に、大学の先生たちも大変身だしなみに注意していると思う。みんながみんなスーツといったフォーマルな服装を着て授業を行う。学校に限らず、私が普段の生活で会った人々もそうだ。郵便局やコンビニでの職員は制服を着て、NPO法人 WIN コンコードのイベントで知り合ったボランティア先生たちもみんなフォーマルな服装で、男性はよく背広を着る。私の国では、学生でも社会人でも化粧する習慣がなく、身だしなみに注意しない人が多い。わりと正式な場でも自分の好きな服装で出ることも多い。このように、私は身だしなみに注意する和歌山の人々に気がついた。身だしなみに人々の生活を大切にする態度や他人への尊重が込められていると思う。

綺麗な風景と身だしなみに注意する人々が身だしなみの良い和歌山を構成した。このような和歌山に住んで生活し、幸せなことだ。

